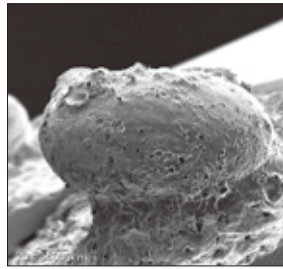


おしるこ

小豆や大豆を栽培してた？

おしるこ
だ〜いスキ！



下野谷遺跡で見つかったダイズ属のレプリカ写真

土器を細かく観察したところ、小豆の野生種であるヤブツルアズキや大豆の野生種であるツルマメの痕が見つかりました。簡単な栽培がされていたのかもしれませんが。「まめ(健康・勤勉)な人になるように」と食べる黒豆などの煮豆や小豆を煮たおしるこを、縄文人も食べていたのかもしれないね。お砂糖はなかったので、クリをたっぷり入れて甘みを足したのでしょうか。

晴れ着

おしゃれな縄文人

縄文人の衣類については、そのものが残ることは難しいので、土偶の模様などから想像されていますが、かなりおしゃれだったようです。アクセサリー類も多様で、ペンダントやピアスは下野谷遺跡からも出土しています。これらは、おそらくお守りのような役目もあったでしょう。縄文人もハレの日には、おしゃれをしたのではないのでしょうか。

いつの時代も
おしゃれは基本！



ピアス(上段と下段右)とペンダント(左下2つ)下野谷出土



あん

海の幸

海の恵みを受けた縄文文化



かい

ぼくたちが獲った
海の幸だよ！

四方を海で囲まれた日本列島固有の文化といわれている縄文文化は、「サケ・マス文化」ともいわれるほど、海の恵みを受けた文化でもあったと考えられています。今より気温が高かったため、海は今より内陸まで入り込んでいましたが、さすがに下野谷遺跡の人々にとっては遠い場所でしたし、サケがここまで川を上ってきたかどうかは分かっていません。しかし、海のムラとの交易で貝や魚、海藻を干したものなどは手に入れていたのではないのでしょうか。珍しい憧れの海の幸。ハレの日にはぴったりのごちそうかもしれません。

漆器

ハレの日の食器は…

器でおいしさも
グ〜ンとアップ！



東村山市
下野谷遺跡出土
(写真提供:
東村山市教育委員会)
※東村山市「八国山たいけん」で展示中

おせち料理を詰めるお重。ちょっと高級なものには、赤や黒の漆塗りのものもありますね。漆はなんと縄文時代から使われていました。盛り皿や、少し変わった形の土器などに塗られていることもありますし、漆塗りの簪や弓も見つかっています。漆は木に傷をつけてそこから出る樹液を原料とします。そんな漆掻きの痕のある木材も見つかっています。

縄文人にとっても赤や黒で描かれた美しい模様がついた漆の杓子(スプーン)などは、ハレの日の食器だったのかもしれない。



しーた

毎年秋に開催！下野谷遺跡公園で縄文体験！

縄文の森の秋まつり

ボランティア・団体・地元商店会・大学生など、市民と市が協力して毎年開催しています。火おこしや弓矢、木の实を使ったアクセサリー作りなどの縄文体験や、出土遺物の展示・遺跡ガイド・音楽の演奏など、子どもから大人まで楽しめます！



君もカッコイイ
縄文人に！

縄文笛は
風の音色

「しーた」や
「のーや」に
もなれるヨ

下野谷の大地
に響く和太鼓

縄文の技って
すごいネ

下野谷遺跡をVR探訪できるプロジェクト進行中!

縄文時代のしたのやムラに行ってみたいと思いませんか？ したのやムラのしーたとのーやの案内でタブレットをのぞいてみると…。広場で弓の練習をする子どもたちや、川から獲物をついで帰る男たち、竪穴住居の中で縄文鍋を作るお母さん。そんな5,000年前のしたのや縄文ワールドが広がります。

VR画像でしたのや縄文ワールドを探訪できるプロジェクトが現在進行中。

3月には皆さんをしたのやムラにお連れできる予定です。どうぞ楽しみに！

まが

たま

りょう



平成29年版の「いこい〜なカレンダー」が市HPからダウンロードできます。印刷してご活用ください。